

# 西蒲区の魅力発見!

元気プロジェクト

西蒲The ミッション ~僕らが描く未来予想図I~

前年行われた国勢調査で、西蒲区は新潟市の中でも最も人口減少が大きい区との結果が出ました。そこで、区では地域を担う子どもたちに自分たちの住む地域の魅力を再発見してもらい、夢を持つことができる地域を目指したいとプロジェクトを掲げ取り組みました。参加することで、地域に愛着を持ってもらえることも狙いの一つです。子どもたちの視点から見えた西蒲区の沢山の魅力をさらに輝かせ、特色ある区づくり事業や、西蒲区自治協議会提案事業に活かしたいと考えています。



私たち区内の小学校  
5~6年生19名が  
「西蒲区未来創造隊員」として  
地域の魅力を探しました。

中之口「果香詩」

湯東田んぼアート

いわおろや「足湯」

湯東西公園

魅力の活かし方提案

西蒲区の魅力探し

角田岬灯台



西蒲区自治協議会通信

題字 小林 真由美

## [ 第5号 ]

平成28年10月15日発行

発行 西蒲区自治協議会  
編集 西蒲区自治協議会広報部  
事務局 西蒲区役所地域課  
〒953-8666 西蒲区巻甲2690番地1  
TEL 0256-72-8156  
FAX 0256-72-6022  
E-mail chiki.nsk@city.niigata.lg.jp



豊かな自然 豊かなこころ 西蒲区

西蒲区データ	
人口	58,250 (-2,490)
世帯数	18,356 (+197)
※H27国勢調査速報値 カッコは前回調査(H22)比	

西蒲区は「自然が美しい」という想いが、皆さんの心の中にあることが良くわかりました。  
西蒲区未来創造隊  
隊長:大上西蒲区長



## 地域のトピックス・西蒲区の魅力発信

### 鯛の宵

9月24日の今年の鯛の宵、会場の本町通りから駅通り一帯は様々な企画を楽しむ人々で賑わいました。中高年の耳に心地よいフォークが街角から聞こえたかと思えば、道の両端に並ぶ小さな灯籠の間を歩き交う鯛車からはゴロゴロという優しくも懐かしい音。黒堀の倉庫では温もりのある照明の下、哀感漂う二胡の音色とそれに聞き入る老若男女。遠く呼び込みの元気な若い声も聞こえます。童心に帰り抽選のガラポンを一生懸命回すお母さん。4銘柄の利き酒に熱心なあまり? 3周回り、かえって分からなくなった愉快なお父さん。そんな楽しい風景にたくさん出会えた鯛の宵でした。



### 宝となった「上堰潟」の今と昔

今や「上堰潟公園」には、連日朝早くから日暮れまでたくさんの人が訪れる。一周二キロの遊歩道を歩く人、季節毎に咲く花々を愛でる人、遊具で楽しむ遊ぶ家族連れ、バーベキューパーティーで盛り上がる人たち、静かに釣りや写生に興じる人、「ワラアート」などのイベントに駆けつける人など、上堰潟はひと昔前には思いも寄らなかった約二十六ヘクタールの宝の公園となった。

しかし、昔の「上堰潟」はこれとは全く異なる全面「泥の潟」であった。一六〇〇年代に開墾された松山耕地を始め、周辺の地区では潟と水田の境界がつけられないほどで、稲作は常に泥水との戦いであった。この状況は、なんと昭和二十年代後半に始まる田の耕地整理が進むまで続いたのである。この間、潟周辺の農民は「田舟」を使って農具や稲を運び、潟に溜まる泥を揚げ田に入れて土壌改良をし、水田を育ててきたのである。

一方、この頃の子どもの遊び場であった。夕方お腹がすくまで時間を過ごし、潟にはフナやコイ、ライギョやナマズがいた。季節になるとハスが実を付け、ヒシやジュンサイが取れた。近くの水路や排水路にはドジョウやイトヨもたくさん取れた。どれも当時の食糧不足を補う有難い栄養源であった。誰かが「上堰潟と角田山を見てみると気持ちいい」と言った。平成十年、水害と害虫の苦難を乗り越え、上堰潟は西蒲区の誇りとなる「上堰潟公園」に生まれ変わった。水鳥も多く飛来してくる。公園の半分近くを占める湖面には、以前のよう水生生物がもどってきた。上堰潟がいつまでもきれいで、みんなの憩いの景勝地であり続けている。



角田山右下に「上関沔」



現「上堰潟公園」

### 募集します

皆さまから投稿された記事をご紹介します。言葉、お子さま、ペットなど、自分が「ホット」するものであれば、何でも結構です。コメントや写真、事務局(表紙に掲載)まで、住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、郵送または電子メールにてお寄せください。

◆ホットコーナー  
「あら、見てごらん。ほらほたるのポスターよ。」  
帰りかけた友と私は足を止めた。  
今は限られたところでしか飛ばなくなったほたるだけ、私たちが小さい頃は夕方田圃へ行くときポカールと飛んでいたよね。そのほたるを捕まえて、家の蚊帳の中に放して、ポカールと光るほたるを楽しんだよね。そしておばあちゃんの昔話を聞いたんだ。でも聴いているうちに眠ってしまったさ、ハハハ:  
夢の中でもほたるが飛んでいたたりしてさ、小さい頃の話は尽きない。  
ほたるさん思い出話をありがとう。



### 開催日・日程

- ★8月9日(火) 西蒲の魅力を考える
- ★8月18日(木) / 19日(金) ハスツアーで西蒲の魅力を探そう
- ★8月22日(月) 見つけた魅力をどう活かすか
- ★8月23日(火) みんなで相談、魅力UP大作戦! 区長や自治協議会委員などに提案する



### 魅力の活かし方提案・発表

- ★田んぼは農家の命! 美しい田んぼ、頑張っている農家の姿をYouTubeや西蒲区ホームページでPR!
- ★西蒲区の自然を広め隊! 角田岬灯台の上からソーメン発射! 四季の魅力を活かして、発信!
- ★田んぼアートを増やそうとPR!
- ★自動車販売店を元気にしよう! 自動販売機で当地グルメを販売!
- ★イベント選挙をして、一番人気のイベントを実施、ゆるキャラを作る。

### 西蒲区大好き! 人があったかい!

- ★西蒲区は緑がたくさんで自然にあふれていた。
- ★景色がきれいだと住んでいる人たちも気持ちよく生活できるかなと思った。
- ★行く先々で出会う人がみんな優しく。
- ★この自然を大切にずっと守りたい。



私たちが感じた西蒲区!

## 自治協議会の部会活動

平成28年度はこんな活動を行います

### 総務部会 西蒲区PR事業

総務部会では、西蒲区の魅力を市内外へPRするため、4月10日に行われた第1回角田山一周ハーフマラソン大会で西蒲区ガイドブック「四季彩国」を配布しました。また、西蒲区特色ある区づくり事業で開発した「おむすびだんご」をマラソン参加者に振る舞いました。



### 保健福祉部会

### 西蒲区は一とふる事業

保健福祉部会では、結婚から子育てへの切れ目のない支援を図るため、「移住モデル地区」に指定された越前浜地区などを会場に男女の出会いを創出する婚活イベントを開催しました。

また、子育てを応援するイベントとして、吉本ばななさんの講演を初めとする「西蒲区『輝く子育て』フェスティバル」を開催しました。



### 西蒲区PRスタンプラリー事業

### まちづくり・産業部会

まちづくり・産業部会では、区内外へ西蒲区の魅力をPRすることを目的に、西蒲区内10ヶ所のイベントを巡ってスタンプを集める「HOT!Nishikan四季彩国スタンプラリー」を8月から実施しています。このスタンプラリーを通して、より多くの方に西蒲区の魅力を味わっていただきたいと思います。



### 広報部会

広報部会では、西蒲区の皆さまから西蒲区自治協議会の活動をご理解いただくため、平成26年度から「西蒲区自治協議会通信 じちきょう」を発行しています。昨年度は「じちきょう」第3号と第4号を発行しました。

より多くの方から西蒲区自治協議会の活動を知っていただくための広報紙となるように、今年度もメンバー一同、頑張っています。

これでいこう! 第5号



(挿し絵協力:吉井 美央)

### 西蒲区「輝く子育て」フェスティバル

九月二十四日に巻文化会館大ホールなどで実施したこのイベントは、子育て世代の悩み軽減になる機会を皆で共有できる場になればと計画しました。

当日は、伊勢みずほさんの司会により、B SNアナウンサーの朗読ライブ、童話作家正道かほるさんの講演、作家 吉本ばななさんと幻冬舎 石原正康さんによるクロストークなどが行われました。吉本さんは「子どもを認める」ことの大切さなど、具体的な体験談を交えお話されていました。

また、お楽しみブース、子育て応援ブース、ベビーダンス教室など盛りだくさんの内容となり、区内外から三百八十二名の参加がありました。

参加された方からは、このような機会はあまりないので今後もぜひ企画してほしいとの声も聞かれました。

地域の宝である子どもたちが、明るく元気に輝くことができるよう、地域全体で応援していける社会を願うばかりです。



### 教育委員と意見交換「区教育ミーティング」

地域の意見を市全体の教育行政に反映していくため、西蒲区を担当する教育委員らと自治協議会委員で六月二十七日に意見交換を行いました。

同ミーティングでは、教育長から平成十八年度の教育委員会の施策についての説明を聴き、それぞれの地域での子どもたちとの関わりを情報共有しました。

また、地域と子どもたちの関わりの中での課題などについても、共通認識を持つとともに、課題の解決に向けた話し合いが行われ、地域のために考える場として、大変有意義な機会となりました。



### 区自治協議会委員研修会

七月六日に新潟市東区にある東区プラザで区自治協議会委員研修会が行われました。

新潟市と同様に「区自治協議会」を設置している静岡県浜松市の取り組みなどを同市の職員から聞いたあと、各区の自治協議会委員が十八のグループに分かれ、各区の自治協議会の良いところと課題について意見交換を行いました。

他区の取り組み状況を知ること、より良い自治協議会での議論が出来るよう、熱いこもった意見交換が交わされました。

